

くまもとぶらんど

産学官で熊本力を発信



熊本商工会議所会頭
田川憲生氏

私たち経済界が待ち
望んだ政令指定都市・
熊本が2012年4月1日
誕生する。熊本は今、
づくりが推進されること
新たな歴史が始まることとしている。
行政令指定都市に移行することは、とても大きな意義がある。
一番大きいのは熊本のイメージがアップされることだろう。
政令指定都市の誕生で、
市としての信頼度がグッと増す。また、権限の拡大と財源が充実することで、地域の課題に迅速に対応できる、自律的な都市は九州の中央にあり、東の推進役になると思う。



新幹線で熊本の玄関口としての機能が強化された熊本駅

熊本県、熊本市、熊本大学、熊本経済同友会、熊本商工会議所のトップが集う「くまもと都市戦略会議」。2010年から熊本の都市戦略を構想、実現するために課題や将来ビジョンを協議している。その結果、自指取り組みの一つが国際会議などのコンベンション誘致だ。市は12年1月、「熊本市コンベンションシティ基本構想(素案)」をまとめた。

コンベンションシティ 基本構想



熊本城前の観光施設・城彩苑

構想によると企業会議やイベント、展示会などを含む誘致を推進。市内でも中心市街地での開催を図る。そして、熊本大学は研究機関が多いことやコンベンションの主催者となるキーパーソンが多いため、熊本の宿泊施設や商業施設など都市機能が集積することや、熊本の街並みを強みとして生かす。

一方で市中心街地に大規模な会場がないことや関係者と一体とな

こと。この優位性を發揮させたためには、熊本駅周辺や熊本城を含めた市中心街地の街づくり、「世界の阿蘇の玄関口」として阿蘇とのアクセス向上などを強調すべきだ。政令指定都市の誕生で、熊本はまさに百年の大計の元年の時を迎えた。

地域経渋が活性化して

可能性は大きく広がると見える。昨年3月、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業。これも熊本市にとっては長年の悲願だった。政令指定都市の誕生で、熊本はまさに百年の大計が実現することで、熊本の魅力がぐっと増す。また、地域の課題に迅速に対応できる、自律的な都市は九州の中央にあり、東の推進役になると思う。

アジアに向いているというところ。この優位性を發揮するためには、熊本駅周辺や熊本城を含めた市中心街地に大規模な会場がないことや関係者と一体とな

こと。この優位性を發揮するためには、熊本駅周辺や熊本城を含めた市中心街地に大規模な会場がないことや関係者と一体とな

こと。この優位性を発揮

するためには、熊本駅周辺や熊本城を含めた市中心街地に大規模な会場がないことや関係者と一体とな

こと。この優位性